



## JR連合 第24回定期大会開催

### JRの代表産別として 新年度の方針を満場一致で決定!



その後、来賓の連合、交運労協、民主党、社民党の代表者、JR連合国会議員懇談会議員等に順次連帯と激励の挨拶を受けた。

JR連合は、6月18日・19日に「東武ホテルレバント東京」において、第24回定期大会を開催し、「JRの最大産別として、政策制度、組織課題を主導的に解決し、安全で社会に信頼されるJRを築こう！」をスローガンに掲げ、代議員、来賓、傍聴者合わせ、約280名が参集し、建設的かつ熱心な討議を通じ、安全確立、民主化闘争完遂、政策実現、労働

条件の向上を中心とする新年度の運動方針を満場一致で決定した。



眞鍋 議長

大会は、議長団に眞鍋執行委員が選出され、スムーズな議事進行が図られた。JR連合で代表し松岡会長は挨拶を述べ、「JR7単組とグループ89単組が諸課題

性特別代議員の計13名から、運動方針をさらに補強する立場で発言があった。JR四国労組からも代議員、特別代議員、傍聴者など11名が出席する中、嶋田代議員が代表し、①安全の確立について②春闘について③政策課題解決について④組織について発言し、討論に参加した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

その後、執行部答弁、井口事務局長の総括答弁のあと、全議案が満場一致で可決された。

この「安全の確立」については、JR四国労組としても最重要課題と位置づけ、あらゆる場での改善と解決に向けて会社と議論を深めているところであり、今後も安全最優先の職場風土・企業風土を構築し、組合員とその命を守るため、安全の確保には妥協することなく、しっかりと取り組む取り組みを展開していき

愛媛県の南予地区を現地視察いただきました。特に過疎化が進むこの地区では地元自治体と協力しながら存続に向けて努力しているということもご理解いただけたいと思います。また、宇和島では0系新幹線に模した日本一遅い新幹線のホビートレインもご覧になったかと思いますが、四国には本当の新幹線は無いように整備計画もありません。今年の中央委員会でも発言させていただきましたが、四国の有識者による基礎調査では四国新幹線の妥当性も明らかになり、四国選出国会議員も国会で発言いただいています。整備計画への格上げを実現すべく、まずは調査費の復活に向けた取り組みと、四国への高速鉄道導入に向けた取り組みをお願いしたいと思います。

非常にベア獲得が難しい四国会社です。収入については、他交通機関との競争が非常に厳しく依然先行きは不透明です。また、一部から支援を受けているという経営環境も相まって、今春闘では14年連続ベアゼロという結果に終わりました。しかしながら、この間議論し決定してきたJR連合春闘方針に沿って四国も全力で取り組んだ結果、JR四国本

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

また、四国KIOSK労組安部委員長がグループ労組連絡会を代表して発言した。

# ユニオンスクール開催!

6月6日(土)宇津町「ホテルサンルート瀬戸大橋」において、管理者組合(現場)・助役・非現業部門の主席クラスを対象とした「ユニオンスクール」(特設コース)が18名参加のもと開催された。

はじめに、中濱委員長から「管理者組合員に期待すること」と題し、JR四国労組を取り巻く情勢や直近の取り組みについて問題提起するとともに、分会をはじめとする組織における管理者組合員の重

要性などについて講演があった。その後、富士社会教育センター志垣講師からの特別講演「管理者組合員に求められるもの」と題し、会社と組合を繁栄させ、人材を育成していくためには、管理者組合員の役割



は非常に重要である。その上で管理者組合員が労働組合に関わり、組合員との意識疎通を図り、リーダーシップを発揮することが会社の発展に繋がることを自覚し、業務と組合活動に励むことが重要であるとの講演を受けた。



## 子供達が犠牲になる事故の撲滅願う 青年女性会議「鉄道版交通安全教室」を開催

本部青年女性会議のボランティア実行委員会メンバーは6月29日(月)、香川県宇津町「香川短期大学付属幼稚園」において、今回で16回目となる「鉄道版交通安全教室」を開催した。

このボランティア活動は、青女組合員が業務中に遭遇した、子供が線路内に立ち入ったことによる痛ましい事故やヒヤリとした経験を教訓に「子供が列車に跳ねられた事故」ではなく「自分達の仲間が子供を跳ねた事故」として捉え、こういっ



た事故を一件でも減らすということから、平成15年から継続して企画・開催し、香川県では9回目の開催となった。

組合員が中心となり「しげちゃん」「ひろみちゃん」「アンパンマン列車」が登場する人形劇「線路には近寄らない」と「列車は急に止まらない」の2本を上演するとともに、「踏切の渡り方」についての実演では、興味津々、楽しみながら正しい渡り方や線路に立ち入らないこと等を学んだ。

ボランティア実行委員会メンバーも、子供達とふれあう楽しい一時を過ごすことができた。また、鉄道の使命である安全第一、職員の重

要性を改めて認識した有意義なボランティア活動となった。なお、今回のボランティア活動においても、複数のテレビ局からの取材があり、青年女性会議の活動を幅広く紹介する機会ともなった。

## 「鉄道特性活性化PT」 愛媛地区視察!

JR連合は、5月22日(以下、PT)において、愛媛県における鉄道の活性化と地域連携の実態把握を行うことを目的とする視察を行った。

今回の視察には、議長である小川衆議院議員(JR連合国會議員懇談会事務局長)並びにアドバイザーの専修大学太田教授をはじめ、JR四国労組から中濱委員長と眞鍋執行委員の総勢18人が参加した。



その後、宇和島地区に移動し、0系新幹線を模造したホビートレインに乗り、予土線利用促進対策協議会」の構成自

光列車「伊予灘ものがたり」の運行に向けた取り組み等について意見交換を行った。

自治体と意見交換を行う際、人口減少が進む予土線沿線における利用促進策等について議論を交わした。翌日には、PTメンバーで「伊予灘ものがたり」に乗り、JR四国の取り組みを体感することができ、有意義な視察となった。



## 第11回本部執行委員会開催

第11回本部執行委員会は、7月10日(金)第34回定期大会の前段の10時45分より、「ホテルクレメント徳島」の会場で開催し、前回の執行委員会以降の経過報告等を行った。

【経過報告】  
平成27年度夏季手当・夏季賞与(JR四国・ジェイアール四国バス)  
(事業)  
乗務員共済運営委員会  
(業務)  
安全推進委員会

## 地方議員団訪問「香川県議会」

JR連合は、「チム公共交通」の形成を様々な場面で主体的に訴えるため、JR連合地方議員団連絡会所属の地方議員との意見交換を実施した。

6月3日、参議院において旅客鉄道株式会社(以下、JR会社法)の一

まず、JR連合の取り組み等について山本県議と意見交換を行い、その後、香川県の交通政策担当者との意見交換を実施した。現状の課題と今後の方向性を踏まえ、今後の方向性を示され、展開

長期借入金などに国土交通大臣の認可が不要となるほか、鉄道・運輸機構が保有する株式を売却し、2016年度の上場を目指すこととなった。

また、JR連合の交通政策の実現に極めて重要であることが把握できる大変貴重な機会となった。

この取組も、改正法案の付帯決議には、JR四国の支援に採択された。



## 安全推進委員会を開催!

6月23日(火)16時30分から本部1階会議室で安全推進委員会を開催された。

冒頭、浅岡安全推進委員長から、「安全は鉄道事業の最大の使命であり、労働組合としてチェック機能をしつかりと果たし、安全最優先の職場風土構築に

向けて取り組んでいかねばならない。」と挨拶があり、その後、議事に入った。議事では事務局から、平成26年度安全・事故防止に関する経営協賛会について②職場環境改善の取り組みについて③JR連合の安全に向けた取り組みにつ

いて④平成27年度の安全・安定輸送に向けた取り組みについての報告と説明があり、各委員からは、安全に関する意見や質問等、活発な議論が展開された。